

## **CONCISE EXPLANATION UNDER RULE 98**

JP-U-2-138240

This document discloses in FIG. 3 a cylindrical bushing wherein a large-diameter cylindrical member having recessed portions open in its inner circumferential surface at respective circumferential portions.

BEST AVAILABLE COPY

⑩ 日本国特許庁(JP) ⑪実用新案出願公開

⑩ 公開実用新案公報(∪) 平2-138240

(S)Int. Cl. 5

識別記号 庁内整理番号

❸公開 平成2年(1990)11月19日

F 16 F 1/38

Z 7053-3 J

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

**の考案の名称** 筒型エンジンマウント

②実 頤 平1-47972

②出 頤 平1(1989)4月24日

@考 案 者 下 河 内 満 愛知県名古屋市昭和区白金2丁目7番11号 マルヤス工業

株式会社内

**⑩出 願 人 マルヤス工業株式会社 愛知県名古屋市昭和区白金2丁目7番11号** 

⑫代 理 人 弁理士 長谷 照一 外1名

#### 明細書

#### 1. 考案の名称

筒型エンジンマウント

#### 2. 実用新篆登録請求の範囲

それぞれ金属成形された大径及び小径の各円筒部材間に弾性部材を介在させてなる内筒と、 金属成形され内周面上に前記内筒を圧入固定しないがからなる筒型エンジンで前部材の外周面上に互いで部材の外周面上に互いの外間であるような凹凸を周が筒の内周面上に互に嵌合する筒型を周が向に沿って形成したことを特徴とする筒型エンジント。

#### 3. 考案の詳細な説明

#### 【産業上の利用分野】

本考察は、それぞれ金属成形された大径及び小径の各円筒部材間に弾性部材を介在させてなる内筒と、金属成形され内周面上に削記内筒を圧入固定してなる外筒とからなって、車両用エンジンを車体に支持するために使用する筒型エンジンマウントに関する。



-1- 538

#### 【簡型エンジンマウントの使用方法】

#### 【従来技術】

従来の簡型エンジンマウントは、第6図に示すように、それぞれ断面が正円になるように金属成形された大径及び小径の各円簡部材21,22間に弾性部材23を介在させてなる内筒20を、断面が正円になるように金属成形された外筒30の内周面上に圧入固定するようにしていた。



#### 【考案が解決しようとする課題】

しかるに、上記従来の簡型エンジンマウントにおいては、内筒20を外筒30に圧入篏合する外筒30の大径円筒部材21の外径を設けるの内径より若干大きく設定して圧入代を設けるようにしているが、この圧入代が大きい場合には、外筒30に組み付け残留応力が生じ、車両に行時の振動によりで30が破壊される合には、車両走行時の振動により内筒20が外筒30から抜け落ちるという問題がある。

本考案は上記問題に対処するためになされもので、 その目的は外筒が破壊されにくくかつ内筒が抜け落ちにくい筒型エンジンマウントを提供することにある。

#### 【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本考案の構成上の特徴は、それぞれ金属成形された大径及び小径の各円筒部材間に弾性部材を介在させてなる内筒と、金属成形され内周面上に前記内筒を圧入固定して



なる外筒とからなる筒型エンジンマウントにおいて、 前記内筒を構成する大径円筒部材の外周面上及び前記外筒の内周面上に互いに嵌合するような 四凸を周方向に沿って形成したことにある。

### 【考案の作用及び効果】

#### 【実施例】

以下、本考案の一実施例を図面を用いて説明すると、第1図及び第2図は同実施例に係る簡型エンジンマウントを斜視図及び断面図によりそれぞ



れ示している。

この簡型エンジンマウントは円筒状の内筒40と、円筒状の外筒50とにより構成された程及が小径の円筒部材41,42と、両円筒がの角でが41,42と、両円にがが41,42間に充填したゴム、合成樹脂などの弾性部は43とからなる。 大径の円筒部材41 は周方にの別の凹凸を成形を成形をの内間51上には、大径円筒部材41 の外沿の内間51上には、大径円筒がががががある。で動方向に平行な波型の凹凸が形成されている。

かかる構成の筒型エンジンマウントにおいては、 内筒40を外筒50内に軸方向から圧入級立てる。 ことにより組み立てられる。また、該組み立て 筒型エンジントを使用する場合には、上 のように、ペース部材を外筒50に落接にもり のように、ペース部材を車体に固定するとと筒4 車両用エンジンに固定したブラケット、ピン等 の小径円筒部材42を貫通させたポルト、



により当該マウントに固定するようにする。 なお、 外筒 5 0 にペース部材を一体形成しておいてもよい。

また、上記実施例において、大径円筒部材41 及び外筒50の内周面51上に形成した波型の凹凸を、第3図及び第4図に示すように、その凹凸の数を変更したり、凹凸の形状を変更するようにしても、本考案は実施できる。



#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例を示す筒型エンジンマウントの分解斜視図、第2図は第1図の筒型エンジンマウントの組み立て状態における断面図、第3図及び第4図は前記実施例の各変形例を示す筒型エンジンマウントの組み立て状態における断面図である。

符号の説明

4 0 · · · 内筒、 4 1 · · · 大径円筒部材、 4 2 · · · 小径円筒部材、 4 3 · · · 弾性部材、 5 0 · · · 外筒、 5 1 · · · 内周面。

出願人・・・マルヤス工業株式会社 代理人・・・弁理士 長谷 照一 (外1名)



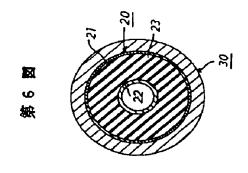
: · ·

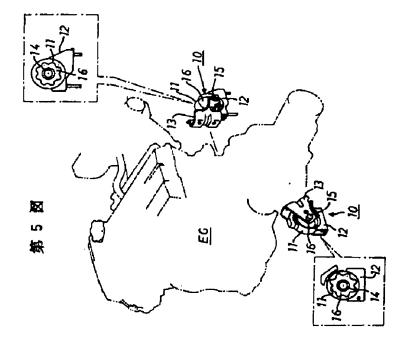
新へ図



公開実用平成 2--138240

第3区







# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
П отнер.

## IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.